

アゼラスチン塩酸塩錠0.5mg「タイヨー」

在庫消尽時期のお知らせ

医療関係者 各位

日医工株式会社
営業本部

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、下記製品につきましては、2022年12月に、製造販売承継に伴う中止案内を发出しておりますが、製造委託先(辰巳化学株式会社)から承継品の納期が確定しない為、これまで下記製品の経過措置満了日を2024年3月31日まで延長し出荷しておりましたが、在庫消尽時期が近づいてまいりました為、出荷調整をいたしました後、一時出荷停止せざるを得ない状況となりましたことを、謹んでご案内申し上げます。

大変ご迷惑をお掛けいたしますが、下記代替参考品へ切替えのご検討をお願い申し上げます。

この度の件では、患者様、医療関係者の皆様に多大なるご迷惑をお掛けいたしますこと、心よりお詫び申し上げます。諸事情ご賢察の上、何卒ご理解とご協力を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

謹白

記

■対象製品：（製造販売元／日医工岐阜工場株式会社）

製品名	薬価(円)	包装規格	統一商品コード 販売包装単位コード	在庫消尽時期
アゼラスチン塩酸塩錠0.5mg「タイヨー」	0.5mg1錠 /5.7円	PTP100錠	123-40459-4 14987123404591	2023年10月下旬

■出荷状況・対応状況

出荷量:C.「出荷停止」、製造販売業者の対応状況：⑤供給停止

■代替参考品：

製品名	薬価(円)	包装規格	統一商品コード 販売包装単位コード	製造販売元 (旧製造販売元)
メキタジン錠3mg「タイヨー」	3mg1錠 /5.7円	PTP100錠	123-40929-2 14987123409299	日医工岐阜工場 株式会社 (武田テバファーマ 株式会社)
		PTP1000錠	123-41409-8 14987123414095	
メキタジン錠3mg「NIG」	3mg1錠 /5.7円	PTP100錠	123-87328-4 14987123873281	日医工岐阜工場 株式会社
		PTP1000錠	123-87493-9 14987123874936	
アゼラスチン塩酸塩錠1mg「NIG」	1mg1錠 /5.9円	PTP100錠	123-87198-3 14987123871980	
		PTP1000錠	123-87617-9 14987123876176	

※メキタジン錠3mg「NIG」は、2023年8月7日に発売しておりますが、

メキタジン錠3mg「タイヨー」の流通在庫状況により、供給時期が異なる場合がございます。

File No. 20231004cG1

■代替参考品：

製品名	薬価(円)	包装規格	統一商品コード 販売包装単位コード	製造販売元
オロパタジン塩酸塩錠2.5mg「日医工」	2.5mg1錠 /10.1円	PTP100錠	376-18131-0 14987376181317	日医工株式会社
オロパタジン塩酸塩錠5mg「日医工」	5mg1錠 /10.1円	PTP100錠	376-18141-9 14987376181416	
		PTP500錠	376-18143-3 14987376181430	
フェキソフェナジン塩酸塩錠30mg「SANIK」	30mg1錠 /18.7円	PTP100錠	376-55661-3 14987376556610	
フェキソフェナジン塩酸塩錠60mg「SANIK」	60mg1錠 /23.5円	PTP100錠	376-55671-2 14987376556719	
		PTP140錠	376-55672-9 14987376556726	
		PTP500錠	376-55673-6 14987376556733	
ロラタジン錠10mg「日医工」	10mg1錠 /16.8円	PTP100錠	376-01761-9 14987376017616	
ロラタジンOD錠10mg「日医工」	10mg1錠 /16.8円	PTP100錠	376-01771-8 14987376017715	

以上

「医療用医薬品の供給状況に関する用語の定義」の見直しについて
日薬連発第 137 号（2023 年 3 月 1 日）より

出荷量*1の状況	
A プラス、出荷量増加	比較対象期間の出荷量*2又は市場予測による予定出荷量と比較して概ね110%以上の出荷状況
A. 出荷量通常	比較対象期間の出荷量*2又は市場予測による予定出荷量と比較して概ね90%以上110%未満の出荷状況
B. 出荷量減少	比較対象期間の出荷量*2又は市場予測による予定出荷量と比較して概ね90%未満の出荷状況
C. 出荷停止	市場に出荷していない状況
D. 販売中止	当局へ「薬価基準収載品目削除願」を提出し、薬価削除に向け対応を行っている状況

*1 出荷量とは、出荷可能量（出荷量＋自社在庫量）とする。

*2 比較対象期間の出荷量とは、原則として前年度（4月～3月）の月平均出荷量とする。

但し、季節性製剤や新規収載品目、直近の期間で急激な需要の増減があった製剤などについては、市場予測による予定出荷量など、各社で妥当な定義を設定して差し支えない。

製造販売業者の対応状況	
① 通常出荷	すべての受注に対応できている状況
② 限定出荷（自社の事情）	自社の事情*1により、すべての受注に対応できない状況*2
③ 限定出荷（他社品の影響）	他社品の影響*3等により、すべての受注に対応できない状況
④ 限定出荷（その他）	その他の理由*4により、すべての受注に対応できない状況
⑤ 供給停止	様々な理由により、供給を停止している状況

*1：「自社の事情」とは、製造販売業者の責任の範囲内の事情（原薬を含む原材料の調達トラブル、製造トラブル、品質トラブル、行政処分など（製造委託先も含む））

*2：「すべての受注に対応できない状況」とは、新規顧客の注文や増量受注の辞退など

*3：「他社品の影響」とは、他社品の出荷量減少等に伴う自社品の需要増など

*4：「その他の理由」とは、季節性製剤や一過性需要過多、災害等による被害など